

事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

学校法人ヒラタ学園

建学の精神

『教育基本法および学校教育法に従い、学校教育を行い、専門の技術を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする』

法人概要（教育理念）

本校ではコンピュータ、エレクトロニクスの先端技術を身につけるのはもちろん、IT時代のリーダーを育てることが使命であると考えています。学生個々の実態に即した専門分野の基本的学力と伸長策充実、「夢」や希望を持ち自ら「自己実現」と真剣に取り組むことのできる人材を育成することが不可欠であると考えています。そのため、少人数教育、習熟度別指導など指導体制の工夫・改善を図る多様な活動を行うと共に各業界の第一線で活躍していく専門講師陣による熱心で丁寧な指導、助言を充実させ続けています。

沿革 近畿コンピュータ電子専門学校

昭和 57 年 2 月	阪南電子工学院 認可
昭和 58 年 3 月	近畿コンピュータ電子学院 校名変更認可
昭和 61 年 3 月	学校法人ヒラタ学園 近畿コンピュータ電子専門学校 認可 情報処理専門課程 コンピュータ科（2 年制）認可 情報処理専門課程 電子科（2 年制）認可
平成 2 年 4 月	情報処理専門課程 ビジネス科（2 年制）認可
平成 4 年 3 月	第二種電気工事士課程 通商産業省認可
平成 6 年 4 月	情報処理専門課程 コンピュータ研究科（4 年制）認可
平成 10 年 4 月	情報処理専門課程 コンピュータ研究科（3 年制）認可 情報処理専門課程 電子研究科（3 年制）認可
平成 10 年 9 月	CG-ARTS 協会 認定教育校
平成 12 年 4 月	情報処理専門課程 コンピュータグラフィックス科（2 年制）認可 情報処理専門課程 CG・コンピュータ研究科（学科名変更）認可
平成 13 年 4 月	MCP（マイクロソフト認定資格プログラム）IT アカデミー校認可
平成 14 年 4 月	OAI（オラクル）オラクルアカデミー校認可 情報処理専門過程 プログラマ学科（学科名変更）認可 情報処理専門過程 情報クリエイタ工学科（学科名変更）（4 年制）認可 情報処理専門過程 情報クリエイタ工学科（学科名変更）（3 年制）認可 情報処理専門過程 クリエイタ学科（学科名変更）認可
平成 21 年 4 月	ビジネス専門課程 ファイナンス学科認可
平成 26 年 4 月	CompTIA Authorized Academy
平成 27 年 10 月	シスコネットワークングアカデミー 開校
平成 28 年 2 月	ゲーム分野 ゲームプログラマ専攻（2 年制） 職業実践専門課程 認定 CG・デザイン分野 ビジュアルデザイン専攻（2 年制） 職業実践専門課程 認定 電気・通信分野 電気工事専攻（2 年制） 職業実践専門課程 認定 電気・通信分野 データ通信専攻（2 年制） 職業実践専門課程 認定
平成 29 年 2 月	IT・エンジニア・ビジネス分野 IT スペシャリスト専攻（2 年制） 職業実践専門課程 認

定

平成 30 年 2 月	ゲーム分野 ゲームクリエイター専攻（2 年制）職業実践専門課程 認定
	ゲーム分野 ゲームイラスト専攻（4 年制）職業実践専門課程 認定
	CG・デザイン分野 CG・デザインイラスト専攻（3 年制）職業実践専門課程 認定
	CG・デザイン分野 ゲームグラフィックキャラクター専攻（4 年制）職業実践専門課程 認定
	IT・エンジニア・ビジネス分野 システムエンジニア専攻（3 年制）職業実践専門課程 認定
	IT・エンジニア・ビジネス分野 IT イラスト専攻（4 年制）職業実践専門課程 認定
	電気・通信分野 電気通信専攻（2 年制）職業実践専門課程 認定
令和元年 8 月	国土交通省認定 大阪ドローンスクール(ODS)開校
令和元年 9 月	2020 年 4 月施行の「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく対象機関 認定
令和 7 年 4 月	情報処理専門過程 情報システム工学科（学科名変更）認可

沿革 大阪航空専門学校

平成 5 年	学校法人ヒラタ学園 大阪航空技術専門学校 認可 航空技術専門課程 ヘリコプタ操縦士学科 2 年制 認可 航空技術専門課程 ヘリコプタ整備士学科 2 年制 認可 家島ヘリポート開港 ヘリコプタ操縦訓練開始
平成 7 年	航空技術専門課程 航空整備士学科（学科名変更） 2 年制 認可 ビジネス専門課程 エアライン学科 2 年制 認可
平成 10 年	航空技術専門課程 航空操縦士学科（学科名変更） 2 年制 認可
平成 12 年	航空技術専門課程 航空操縦士学科 1 年制 認可 ビジネス専門課程 空港エアライン学科（学科名変更） 2 年制 認可 家島から神戸ヘリポートに移転（ヘリコプタ操縦の訓練のみ）
平成 19 年	学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校 学校名変更 認可
平成 20 年	ビジネス専門課程 エアポート学科 2 年制 認可 ビジネス専門課程 エアライン学科（学科名変更） 2 年制 認可
平成 21 年	神戸キャンパス竣工 神戸ヘリポートから神戸キャンパスに移転（航空操縦士学科のみ）
平成 25 年	航航空技術専門課程 航空整備士学科、航空従事者指定養成施設テストコースの指定
平成 27 年	国土交通大臣から航空従事者養成施設として指定を受ける（二等航空運航整備士・飛行機）
平成 28 年	職業実践専門課程の認定、ビジネス専門課程 エアポート学科 ビジネス専門課程 エアライン学科、航空技術専門課程 航空整備士学科
平成 28 年	国土交通大臣から二等航空運航整備士の技能証明の基本技術（基本技術Ⅱ）課程に 係る 限定変更が承認される 航空技術専門課程・航空整備士学科整備士専攻コース 1.5 年制を 1 年制に在籍期間 変更
平成 31 年	高等教育の修学支援新制度（高等教育無償化）の対象機関として文部科学省より認定
令和元年 9 月	文部科学省より高等教育の修学支援制度の対象として認定を受ける

(1) 事業の概要

- ・近畿コンピュータ電子専門学校
- ・大阪航空専門学校

(2) 設置する学科

近畿コンピュータ電子専門学校

学科名	就業年限	入学定員
情報クリエイタ工学科 4 年制	4 年	20 名
情報クリエイタ工学科 3 年制	3 年	30 名
クリエイタ学科	2 年	30 名
情報システム工学科	2 年	50 名

大阪航空専門学校

学科名	就業年限	入学定員
エアライン学科	2 年	30 名
航空整備士学科	2 年	40 名
エアポート学科	2 年	60 名
パイロット学科	2 年	5 名

(3) 教員の概要

近畿コンピュータ電子専門学校

教員	31 名
事務職員	8 名
計	39 名

大阪航空専門学校

教員	48 名
事務職員	9 名
計	57 名

（４）主な事業の目的・計画及びその進捗状況

近畿コンピュータ電子専門学校

〔目的・計画〕

本校の教育目標は、教育理念である「学生の自主性を尊重し発展させ、即戦力となる人材を育成することで社会に貢献する」と定めており、この教育理念の達成を教育目標としている。この教育目標を達成するために、多様化するＩＴ技術に必要な広い視野と教養および、高度な専門力を持つ技術者育成のための教育システムを構築する。

〔進捗状況〕

文部科学省の「職業実践専門課程」の認定に関して、本校の全学科が認定を受けており、最新の実務の知識・技術・技能を身に付けられる実践的な職業教育に取り組んでいる。毎年その年度の計画を策定し、関係企業及び組合等との連携会議・調整を行い、要望や意見を反映した教育内容の編成、産業界からの講師の派遣等を行う。また、校内の委員会により自己評価を行い進捗状況をチェックし、最終的には企業・組合・卒業生などによる学校関係者評価を行うことにより、学校運営、教育の質の向上・改善に取り組んでいる。

〔2024 年度報告〕

2020 年に 5 か年計画を打ち出し、高い目標を掲げた。現在もその目標に向かう変更はないが、少子化の影響や大学を含めた競争下において、生産性の低下や市場の縮小といった影響も避けられない。この厳しい環境の中でまずは「生き残っていく」「並行して何かを行う」を主として改革を実施していくこととした。2024 年までは、IT と電気を完全に分離した教育を実施してきたが、現社会にある多くの機器は、ハードウェアとソフトウェア、両者（相互補完的で、かつ並行的進化）が無くては存在しない世界となっていることから、ふたつの分野を統合し、新たな学科を編成し募集を開始した。

○教育環境の充実と整備

- ・基幹サーバの安定・安全性を向上させるため AD サーバー構成を実施した。
- ・情報セキュリティを考慮したネットワーク環境構築を実施した。
- ・ネットワーク環境の安定稼働と安全性向上のため、ネットワーク機器の更新と構成検討を実施した。

○学生支援の充実

- ・中退率の軽減について、年間目標とした数値内にとどめることができている。
- ・学生生活充実について、学校行事（球技大会、各種講演会やセミナーなど）や学外イベントの充実とクラブ同好会の支援を行った。

○志願者（入学者）の確保

- ・2024 年度は、前年と比較し減となり、目標としていた人数には届かなかった。
- ・大学との競争下において、志願者を確保するため、様々な角度から情報を収集し、必要となれば学科編成を検討する。
- ・オープンキャンパスや進路説明会への参加数増加にむけて、広告掲載や情報誌への掲載を引き続き実施や強化したことで、学校案内の希望数は増加したが志願者数は減少した。

大阪航空専門学校

〔目標・目的〕

本校の教育目標は、教育理念である「学生の自主性を尊重し発展させ、即戦力となる人材を育成することで社会に貢献する」と定めている。また、学校教育法及び教育基本法に従い航空操縦技術教育・航空整備技術教育並びに航空に関するビジネスの知識・技術教育を専門に、その理論と技術を授けるとともに、教養の向上と人格の陶冶を図ることを目的とする。

〔進捗状況〕

開校から 31 年、発展を続ける航空業界に対し、西日本唯一の空の総合学園として 6,000 名に上る人財を輩出したことで一定の社会貢献を果たしているものと思慮する。特に航空整備士学科整備訓練コースは、指定航空従事者養成施設及び航空機整備訓練課程として国土交通大臣から指定を受けております。また、文部科学大臣から職業実践専門課程として 3 学科（エアライン学科、エアポート学科、航空整備士学科）が認定されたことから、専修学校の真髄である職業に直結した教育指導ができていく学校として、更に企業連携を強化しながら継続的に教育の質の向上を図って参ります。

〔2024 年度について〕

2020 年に 5 か年計画を打ち出したが、その直後のコロナ禍の影響が大きく、少子化の影響や大学を含めた他専門学校との競争下において、目標の達成は非常に困難である。この厳しい環境の中でも即戦力となる人材を育成することと学生の満足度を向上させるため以下のように教育環境の充実と整備等を図っている。また、エアライン学科の航空貨物取扱コースは志願者が 2 年連続していない為、募集を停止することとした。

○教育環境の充実と整備

- ・ 2024 年度より GDS 教育を Amadeus から INFINI へと切り替えを実施
2025 年度より INFINI へ完全移行（エアライン学科）
- ・ 20 フィートコンテナを改造しての手荷物搭載作業用モックアップコンパートメントの新規作成（エアポート学科）
- ・ 運航整備士の業務範囲拡大に伴い、教育内容の追加変更が必要となる。2024～2025 年度で教育カリキュラム等の変更作業を進めている（航空整備士学科）

○学生支援の充実

- ・ 中退率の軽減について、進路変更や病気療養など残念ながら目標とした数値に届かなかった。
- ・ 学生生活充実について、学校行事（球技大会、学園祭、関西 3 空港の見学、各科独自のイベント）の充実により学生の満足度の向上を図った。

○志願者（入学者）の確保

- ・ 2024 年度は、前年と比較して減となり、目標としていた人数には届かなかった。
- ・ オープンキャンパスや進路説明会への参加者増加に向けて、広告掲載や情報誌への掲載を引き続き実施及び強化したことで、学校案内の希望数は増加したが残念ながら志願者は減少した。
- ・ 小学生や中学生に向けての出前授業やイベント活動により、航空業界に向けて将来の進路の参考になるような広報活動に努めた。

学校・学部・学科等の学生数の状況（令和7年5月1日現在）（単位：人）

学校名・学科		入学定員数	収容定員数	現員数
近畿コンピュータ電子専門学校	情報システム工学科	50	110	66
	情報クリエイタ工学科（4年制）	20	110	24
	電子科		20	8
	電子研究科		40	8
	情報クリエイタ工学科（3年制）	30	110	120
	クリエイタ学科	30	70	26
大阪航空専門学校	パイロット学科（2年制）	5	10	3
	航空整備士学科（2年制）	40	80	50
	エアライン学科	30	60	39
	エアポート学科	60	120	65

就職状況（令和7年5月1日現在）（単位：人）

	求職者数	就職者数	大阪府内 就職者数
近畿コンピュータ電子専門学校	108	112	70
大阪航空専門学校	74	73	23

主な教育実績（令和7年5月1日現在）（単位：%）

I Tパスポート試験	合格率
基本情報技術者	77.1
第1種電気工事士	66.7
第2種電気工事士	33.3
工事担任者第一級デジタル通信	81.8
C G検定 ベーシック	61.1
C G検定 エキスパート	35.7
民間 C言語プログラミング能力認定試験 2級	85.0
民間 C言語プログラミング能力認定試験 3級	76.2
民間 マイクロソフト オフィシャル スペシャリスト	93.3
実用英語技能検定2級	22.2
実用英語技能検定準2級	60.0
インフィニ国際線システム検定 予約初級	100.0
Amadeus Reservation Fundamentals	100.0
ビジネス能力検定ジョブパス 2級	33.3
ビジネス能力検定ジョブパス 3級	59.0
二等航空運航整備士 学科試験	91.7
二等航空運航整備士 指定養成施設 技能審査	100.0
航空機事業用操縦士技能証明（回転翼）	100.0